

令和5年度 石津地区福祉活動計画評価表

スローガン	助け合い支え合う石津地区
-------	--------------

重点課題	高齢者の移動手段の確保
------	-------------

事業名	推進方法	評価
高齢者移動サービス	・ボランティアの協力を得て、車両を使って送迎する。 ・ボランティアの高齢化が進んでいるので、世代交代を進める。 ・関係団体と連携したり、個別折衝などでボランティアの発掘を行う。 ・「石津地区社協だより」を利用して、公募による募集も行う。	○

現状及び今後の方針		
・ボランティアの高齢化が進み体調不良となり、ボランティアの確保が課題である。 ・関係団体と連携及び個人折衝でボランティアの確保に努める。 ・年度末の利用登録者100名。実施日数238日、利用数856回。 ・利用者の高齢化による課題が顕在化しており、対応を検討する必要あり。		

重点課題	高齢者のいこいの場が少ない
------	---------------

事業名	推進方法	評価
石津地区サロン運営事業	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視して、早期に再開をしたい。 ・再開時は、「地区社協だより」、関係団体、個別連絡など幅広く周知する。 ・再開に向けた、ボランティア間の連携を確認する。 ・再開後の「朝市の再開」に向けた体制の確認をする。	○

現状及び今後の方針		
・令和5年6月に再開し、毎月開催した。 ・朝市の活性化を図る。		

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和5年度 石津地区福祉活動計画評価表

スローガン	助け合い支え合う石津地区
-------	--------------

重点課題	新型コロナウイルス感染症の中での 世代間ふれあい活動の減少と対応
------	-------------------------------------

事業名	推進方法	評価
世代間交流推進事業	①米づくり体験活動（石津小学校の行事に協力） ・ 境自治会、農業ボランティアと協力し、地区社協の有志も活動に参加する。	○
	②さつま芋作り体験活動 ・ 田鶴地区の農業ボランティアの指導で、地区の認定こども園（2園）の年長組園児と石津小学校1年生児童がさつま芋作り体験活動（苗植え、芋掘り、焼き芋パーティー）を行うのに、地区社協の有志も参加する。	○
	③福祉標語の募集 ・ 石津小学校の6年生を対象に、福祉に関する標語を募集する。 ・ 優秀作品（12点）を表彰し、石津地区社協だよりに掲載する。	○
	④新しい地域交流活動の模索 ・ 来年度に開催予定の「石津小学校創立150年記念事業」に参画し、地域と小学校との交流事業に取り組む。	○

現状及び今後の方針
計画通り、実施することが出来た。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和5年度 石津地区福祉活動計画評価表

スローガン	助け合い支え合う石津地区
-------	--------------

重点課題	子どもからお年寄りまで安心・安全暮らせる地域づくり
------	---------------------------

事業名	推進方法	評価
①スクールボランティア	・スクールボランティアと学校との連携について、積極的に関わっていく。 ・区長、自治会長と連携して地域の協力を働き掛ける。	○
②防犯パトロール、青色パトロール	・ボランティアの人数を増やして、パトロールの回数を前年度以上に増やす。 ・ボランティア同士の絆を深くし、仲間意識の高揚に努める。 ・警察署、行政との連携をより深め、パトロール対象の拡大を検討する。	○
③防災	・防災の必要性について住民の意識啓発に取り組む。 ・区、自治会が、実際の避難所を想定して避難訓練を行えるよう、支援体制を整える。	△

現状及び今後の方針
①スクールボランティア ・今年度は、2名の退会と1名の入会があった。ボランティアの高齢化が進み、今後益々の減少傾向が続くと思われるため、事業が持続出来る仕組みづくりが必要である。 ・ボランティアの帰宅途中で軽い接触事故があり、ボランティアの安全確保についても啓発していきたい。 ②防犯パトロール、青色防犯パトロール ・活動は継続できているが、ボランティアの一部で高齢化による「リタイア」が発生するなど若返りが課題の一つ。 ・活動は継続し、充実させる。 ③防災 ・防災士とのつながりは保っているが、具体的な行動に結びつかなかった。 ・能登半島地震の経験に学び、実践的な防災活動に繋げる取り組みを計画する。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった